

厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）
（分担研究報告書）

がん患者の個々のニーズに応じた質の高い相談支援の体制整備のあり方に関する研究

研究分担者 塚本 憲史 群馬大学医学部附属病院（腫瘍センター長/診療教授）
研究協力者 角田 明美 群馬大学医学部附属病院 緩和ケアセンター（看護師長/がん看護専門看護師）
研究協力者 渡辺 恵 群馬大学医学部附属病院 がん相談支援センター（がん看護専門看護師）

研究要旨

がん相談支援センターでの相談支援内容を解析し、蓄積されたデータを利活用するために、テキストマイニングによる相談支援内容の解析を行った。まず、2020年度のがん相談記録から、解析対象となる症例100例を抽出し、個人情報等を除外、匿名化し、CSVファイルを作成した。共同研究者である東京医科歯科大学医学部附属病院の内村祐之先生が開発した解析ソフトをインストール後、模擬症例10例を用いて、動作環境の確認、解析方法の確認を行った。現在自験例100例で検討を加えている。

A. 研究目的

がん相談支援センターでの相談支援内容を解析し、蓄積されたデータを利活用するために、相談記録情報を利用し、テキストマイニング技術により疾患別、カテゴリー別の傾向を分析し、頻度の高い相談内容相談内容と対応内容を分類することで、FAQの作成、他施設を含めた情報共有の仕組みを検討し、自施設の相談支援業務に活かす。

B. 研究方法

2020年、2021年に自施設で行われた相談支援内容から分析用CSVデータを作成する。CSVデータを取り込み、計量的分析手法を用いてテキスト型データを整理または分析し、内容分析を行い、相談内容の傾向を把握する。計量的分析手法は文章を分かち書きし、出現する単語などを集計し更に文章内での単語の共起関係の集計値（Jaccard 係数など）をもとに単語間の関係を多次元尺度構成法、階層的クラスタ分析、共起ネットワークとして可視化する。

（倫理面への配慮）

患者のプライバシーに関わるもの、個人情報を含むものを除外または匿名化した上で利用する。また、診療内容に対する不満などの相談内容は解析対象外とした。

C. 研究結果

2020年度のがん相談記録から、解析対象となる症例100例を抽出し、個人情報等を除外、匿名化し、CSVファイルを作成した。共同研究者である東京医科歯科大学医学部附属病院の内村祐之先生に来県

していただき、解析ソフトをインストールし、必要な動作環境を確認した。その上で、準備した模擬症例10例を用いて、解析ソフトの運用、症の解析方法の確認を行った。

D. 考察

解析ソフトを用いて、模擬症例で演習を行ったところ、十分運用可能であることがわかった。現在自験例100例はすでに準備しており、検討可能と思われた。

E. 結論

解析ソフトを用いてテキストマイニングによる相談支援内容の解析を行うことは十分可能である。

F. 健康危険情報

特になし

G. 研究発表

（発表誌名巻号・頁・発行年等も記入）

1. 論文発表 なし

2. 学会発表 なし

H. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む）

1. 特許取得 なし

2. 実用新案登録 なし

3. その他 なし